

産学官民連携による公共交通の信頼回復と利用促進の試み ～バス運賃無料ウィークの効果と影響～

PC10

福山市／荒平信行、宝諸明生、清水建太

呉工業高等専門学校／神田佑亮、山口大学／鈴木春菜、福山大学／大畑友紀



広島県福山市

人口：460,930人（2020年国勢調査）

面積：517.72km²（2024年）

1 背景と目的

公共交通利用者が減少

人口減少

コロナによるライフスタイル変化

自家用車へ依存

乗務員不足による便数の減少

福山市の現状

公共交通が使われない

公共交通の維持が困難

■ バス共創プラットフォーム（2024年7月23日設置）

だれもが使いやすく、安心して移動ができる公共交通の実現を目指す

メンバー

学識経験者 (3名)	バス事業者 (4社)	タクシー 協会	西日本 旅客鉄道
自治会連合会	社会福祉協議会	商工会議所	連合広島
高校 PTA連合会	国土交通省 中国地方整備局	広島県	福山市 (事務局)

福山市の路線バスの利用促進に向けプロジェクトスタート！

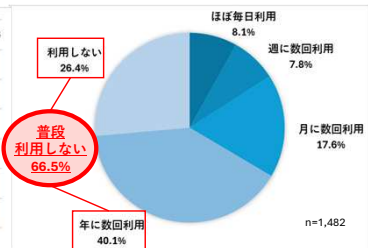
3 効果

■ 利用者数の増加

普段路線バスを利用しない方に多く利用してもらい、利用者数が全体で**約1.6倍**増加



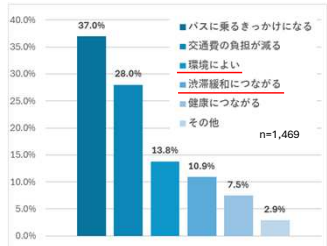
▲利用者数（実施前との比較）



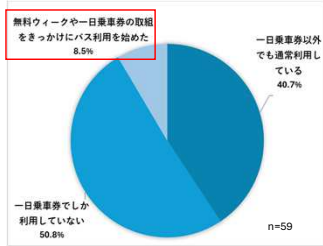
▲普段の路線バス利用頻度

■ 意識及び行動に変化

環境意識や交通渋滞等の社会課題やバス利用の意識に変化が発生



▲無料ウィークを継続してほしい理由



▲無料ウィーク後のバス利用状況

4 結論

■ バスに乗るきっかけづくりに

延べ利用者数 **73,194人**

■ 利用者ニーズを把握

- 増便してほしい
- 運賃を割り引きしてほしい
- 夜間に運行してほしい
- わかりやすい情報発信がほしい

■ バス事業者との連携強化

- 運転手のやる気向上
- バス会社主体の利用促進事業
- 夜店（6～8月の毎週土曜日開催）に合わせた増便、PRうちわ等の配布
- 市とバス会社の定例会開催（月1回程度）



▲運賃無料ウィークの様子

2 実施内容

■ 運賃無料ウィーク（2024年12月18日から24日の1週間）

- 福山市内を発着するバス路線が無料（一部路線除く）
- 全国初？の一週間続けて実施
- 1日乗車券を活用した行動変容追跡調査
- 市内を運行するすべてのバス会社が参画
- プラットフォーム委員による産学官民連携



▲プラットフォームの様子

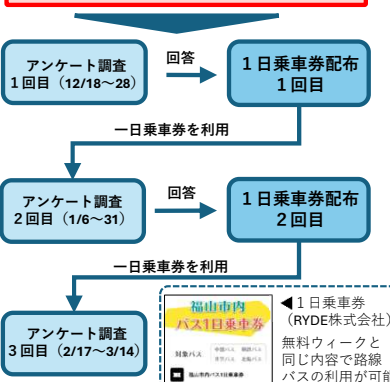


▲運賃無料ウィークのチラシ



▲国道2号 道路情報掲示板でPR

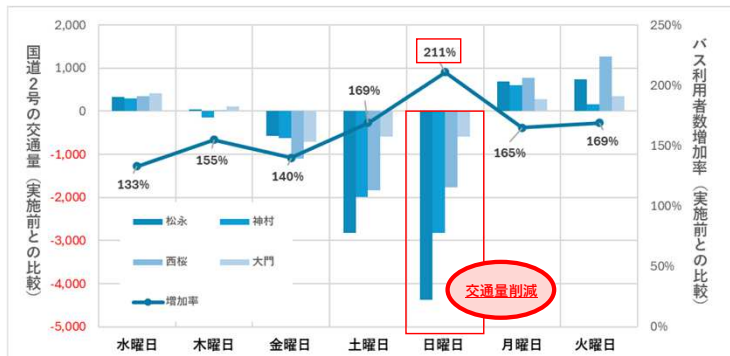
運賃無料ウィークの実施



▲行動変容追跡調査のイメージ

■ 交通量の削減

利用者数に応じて、国道2号の交通量が減少し、交通量の削減に貢献



▲国道2号の交通量（トラフィックカウンター）

■ 市民の関心

地元メディアによる報道やプロジェクトを盛り上げる高校生による自主的なPR活動等

新聞 9件

（中国新聞、山陽新聞、読売新聞、毎日新聞）

テレビ 5件

（広島テレビ、広島ホームテレビ、RCC中国放送、TSSテレビ新広島）

ラジオ 2件

（エフエムふくやま）



▲高校生によるPR活動

プロジェクト第2弾が進行中

■ ニーズにあった運行便数の増便や新路線の実証実験

無料ウィークで利用が多かった路線や利用者ニーズがある路線を対象に、増便や夜間運行の実証実験を予定。また、鞆未来トンネル開通に伴う新路線の実証実験を予定。（2025年10月から12月）

■ 路線バス100円2ウィークス

無料ウィークに続く「バスに乗るきっかけづくり」の第2弾として、路線バスが2週間1乗車100円で利用することができる「路線バス100円2ウィークス」を予定。（2025年12月）

※詳細は福山市都市交通課HPで随時アップ予定



▲福山市都市交通課HP